

令和7年度 第1回 川西市介護保険運営協議会 議事録

日 時:令和7年9月3日(水)午後1時30分～15 時

場 所:キセラ川西プラザ 2階 大会議室

出席者:

(出席)14 名

吉岡 健一(会長:再任)、上農 哲朗(会長職務代理者)、中村 敏美、樋口 淳一
本田 恵子、鷲野 奈美子(再任)、木部 美代子(再任)、日下部 しづ子(新任)
山本 敏行(再任)、柏崎 靖久、高田 浩行(再任)、片岡 大雅
本田 美代子(新任)、片峰 純子

(欠席)1名

大久保 徹雄

(事務局)

福祉部:船木部長

介護保険課:田中副部長、貞松担当課長、田村課長補佐、橋川

(傍聴人):0 名

1. 開会

各委員挨拶及び事務局職員紹介

2. 協議事項

(1) 会長の選任について

吉岡委員の任期満了に伴い、新たな会長を選任する必要あり。

会長を吉岡委員に決定。(再任)

(2) 令和6年度川西市介護保険事業概要について

〈事務局説明〉

資料「川西市介護保険事業概要(令和6年度)」 参照

〈質疑応答〉

質問内容(質問者は委員):「Q」と表記する、回答内容(回答者は事務局):「A」と表記する

〈質疑応答〉

Q.今後、高齢者の人口が減り、要介護者が増えることが考えられる。元気な高齢者が減っていくのではないかと考えられるが、先を見据えた対策は何か考えておられるのか。

A.川西市では、令和6年度より認知症対策アクションプランを重点に、様々な取り組みを始めている。例を挙げると、介護予防ポイント事業については、高齢者の社会参加を通して要介護認定に至る時期を遅らせる目的もある。

また、介護に従事する人材を確保していく観点から、介護人材確保プロジェクトを推進していく。

Q.コミュニティや福祉委員会の役員さんの高齢化に伴い、このまま機能が発揮され

るのが少し不安である。そういったところに政策を実施していかなければならないと思う。

A. 令和6年度から、特に生活支援体制整備事業や総合事業を進めている。なかでも訪問型支えあい活動支援事業のように、福祉委員などの地域住民の活動がしやすくなるような事業を今後実施していきたいと考えている。

(3) 令和6年度川西市地域包括支援センター事業報告について

〈事務局説明〉

資料「平成6年度川西市地域包括支援センター事業報告」 参照

〈質疑応答〉

Q. 地域包括支援センターについて、川西の場合は高齢者に限らず、いろんな方の相談に対応していると感じる。ケアマネジャーが減少していく中で、高齢者人口が速いペースで増えているため、おのずと高齢者に時間をさかないといけない状況になるかと思うが、そのあたりの見通しについてはご検討されていることはあるか。

A. 介護予防ポイント事業や訪問型支えあい活動支援事業を始めたことで、少しでも元気な高齢者が増え、要介護状態になる時期を遅らせることや、介護の状態であってもそれを維持することを重点的に新規施策を行っている。地域包括支援センターの業務増大に関しては、令和6年度より事務職を配置して、専門職の事務負担の軽減を図っている。

Q. 介護度別サービス利用者数について、年々増加しているが、現在の地域包括支援センターの職員数で対応はできているのか。

A. 職員数が安定しない時期もあり、全ての包括が万全とまではいかないが、基本的には定着して長くお勤めしていただける方が増えている。ただ、業務過大ではあるため、離職につながらないように、特に事務負担軽減を考えている。

Q. 就職した方が離職しない、という点は大事だと思う。例えば事業のIT化や、カスハラ対策等、そういったことは委託先で考えておられるのか、それとも市全体でバックアップをされているのか。

A. カスハラ対策として中央地域包括支援センターで、令和6年度に2回のカスハラに関する研修を行い、専門職の心とからだを守ることを一緒に考える機会を作った。

Q. 地域包括支援センターの職員の定数については、地域の高齢者人口をベースに配置をされていると思うが、相談件数とケアプラン数に偏りがあるように思う。一律には言えないところだが、忙しい包括とそうでない包括があるのであれば少し配慮をできる範囲で考えていただけたらと思う。

A. 相談件数やケアプラン件数の偏りについては、特に緑台包括が立地的に相談しやすい場所にあることもあり、新規・継続の相談件数が多いという特徴がある。大変な包括ではあるのは事実だが、緑台包括の方からは、事務職配置により負担軽減

になったと言っていており、緑台包括の事務職の業務現状を、各包括に横展開して包括の専門職業の負担軽減につなげていきたい。

(4)川西市高齢者保健福祉計画第 9 期介護保険事業計画の進捗状況について
〈事務局説明〉

資料「川西市高齢者介護保健福祉計画・第9期介護保険事業計画の進捗状況について」 参照

〈質疑応答〉

Q.送迎業務の共同委託の実証実験をもう少し具体的に教えていただきたい。

A.この業務は、デイサービスの送迎業務を共同化で実施することによってデイサービス職員の負担軽減を図っていく事業である。ダイハツ工業の AI システムにより、共同送迎を配車していくものです。この事業に対する現場の意見や、感想を令和 6 年度にアンケート調査をした。

令和 7 年度においては、実証実験を行う予定としているので、まず共同送迎の運営法人と実証実験に向けた話し合いを進めてる。その後、デイサービス事業者の参加を募り、一定数の参加事業者があれば実証実験を進めていきたいと考えている。

Q.住宅改造の助成について、最近は住宅改造が減ってきているのか。

A.改造については、11 月頃を受付の締め切りにし、改造を 3 月末までにやっている。半年程しか受付を行っていないため、時期の問題もあるかと思う。

3. その他

第 2 回川西市介護保険運営協議会は令和 7 年 12 月 19 日(金)、

第 3 回は令和 8 年 3 月 19 日(木)、いずれも午後 1 時 30 分より開催予定。